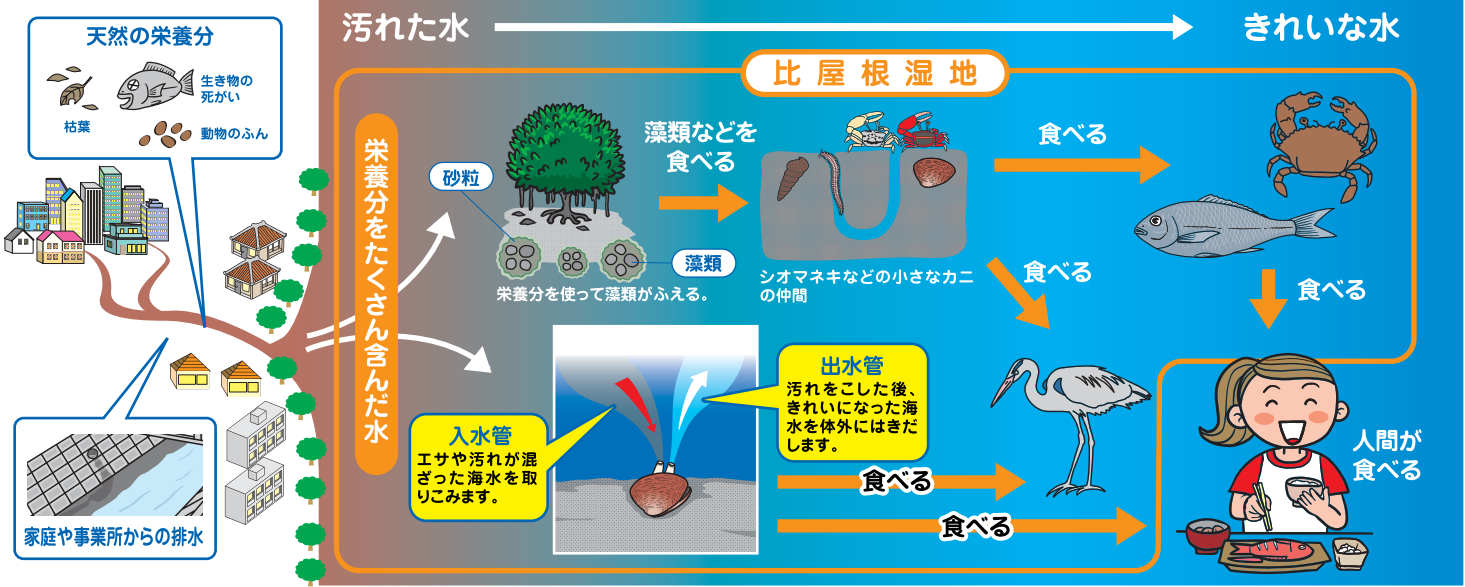


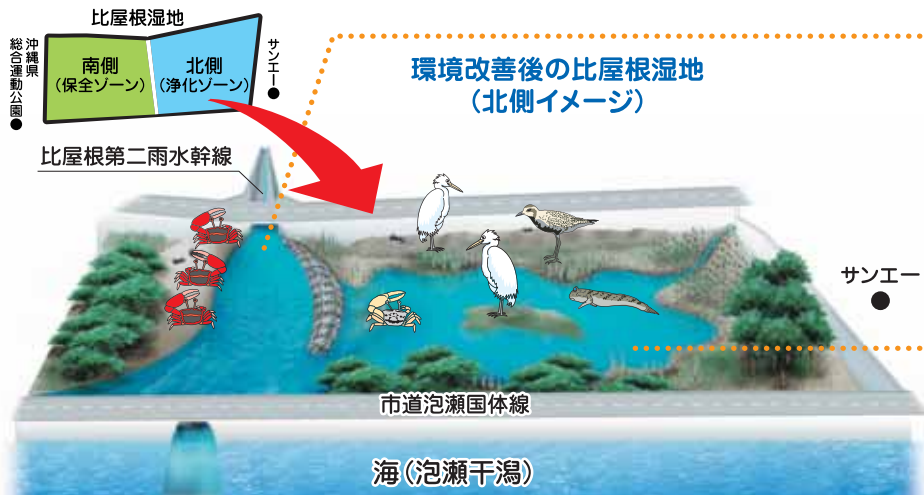
湿地のしくみ(自然の浄化場)



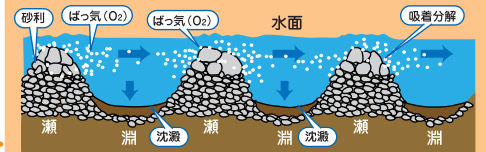
みんなで守る自然への取り組み

行政の取り組み

●行政では37項目の環境改善アクションプラン(行動計画)を実施し、よりよい環境づくりを推進します。

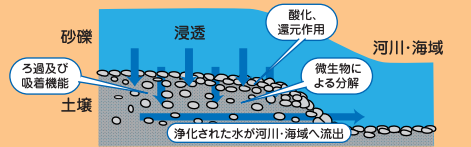


瀬と淵の組み合わせによる水質浄化



- ①瀬・・・ばっ気(バシャバシャと水と空気が混ざること)により、水中の酸素量が多くなることで、汚れをエサとするバクテリア(小さな生物)が元気になる、水をきれいにしてくれます。
- ②淵・・・流れがゆるやかで、深みになっているため汚れが沈んで川の底にためてくれます。また生物の隠れ家にもなります。
- ③瀬と淵の組み合わせ・・・やんばるなどの自然の川は、この組み合わせの連続です。

堆積土砂の撤去と砂質土の投入



- 土砂が堆積し、海水の出入りがほとんどないため、現在ある堆積土砂を撤去し、多くの生物が生息できる環境を創出します。
- 透水性の高い砂質土を入れ、土壌浸透浄化を図ります。

家庭の取り組み

●皆さん一人ひとりの心くばりが比屋根湿地・海(泡瀬干潟)をきれいにします。

私たちの家から出る生活雑排水(食器を洗ったり、洗濯した後の水)はどこに行くのでしょうか?
比屋根湿地や海には、私たちの家から流れ出ている生活雑排水が流れ込んでいます。そして、湿地や干潟やそこに住んでいる生き物たちが水をきれいにして海へ流してくれています。しかし、生活雑排水やゴミが多く流れてきたらどうなるでしょう?
湿地や干潟やそこに住んでいる生き物だけでは、きれいにすることが出来なくなります。そして、汚れた水はそのまま海に流れていってしまいます。
きれいな海を守るために、私たちが出来ることは取り組んでいきましょう!

合併浄化槽の接続

家庭からの排水は、各戸に設置した浄化槽により浄化処理を行いきれいな水を川などに流します。(個別処理)

公共下水道への接続

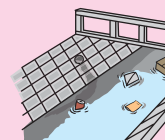
公共下水道は、家庭や事業所などの排水を下水道で集めた後、処理施設で浄化処理を行いきれいな水を流します。(集合処理)



家庭でできる4つの心くばり



流しには水切り袋を使いましょう。使い古しのストッキングも代用できます。



ゴミは川にすてない。流さない。



汚れのひどい食器などは、拭き取ってから洗いましょう。



洗剤は、計って適量使いましょう。環境には合成洗剤より石けんがやさしいです。